

公表:令和3年2月28日

事業所名:発達支援BOXらじあぼ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6		子供さんの個性や体調に応じて、1階と2階の使い分けを行っています。	様々な状況に応じて、2階部分もどンドン活用し、活動の幅を広げられるように取り組んで参ります。
	②	職員の配置数は適切であるか	6		PT・OT・Ns・保育士・児童指導員等の専門職を配置しています。	専門的視点から、より良い関わりが行えるような支援を行っていきたいと思います。さらに色々な特技や情熱を持った職員を増やしたいと考えています。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	4	2	導線は、可能な限りバリアフリーにしておりますが、あえて一部バリアフリーにし、リハビリの一環として活用しています。	都度、気づいた点を改善するようにはしていますが、子供さんにとってわかりやすく活動しやすい場なのかを定期的に振り返りながら取り組んで参ります。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	6		以前より、施設内や遊具、おもちゃ等、毎日の午前・午後の清掃・消毒は実施しております。また、来書される子供さんに合わせた遊具等を配置するようにはしています。	空間づくりは、永遠の課題と感じております。施設内の清潔さは向上したと感じていますが、慢心せずに過ごしやすい空間づくりに取り組んで参ります。
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	2	4	都度会議を実施し、その子にあった目標・関わりを心掛けています。チーム制を取り入れており、チームで話し合いながら取り組みを進めております。	少しずつ職員がPDCAサイクルを考慮した関りが可能となってきております。しかし、もっと上を目指して、取り組んで参ります。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6		アンケートにより、意向確認を行っており、昨年度頂いたご意見より課題を抽出し、今年度いくつかを解決することができました。	まだ解決できていない点と、今年度新たに見えた点を、来年度中には解決できるように取り組んで参ります。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6		毎年評価を実施し、ホームページ上で公開して参ります。	来年度は、もう少し早い時期に実施したいと思います。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		6		第三者評価の活用も検討していきたいと思っています。

適切な支援の提供	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	1	5	今年度は、感染症対策の観点から、積極的な研修会への参加を見送らせて頂きました。	状況を見ながら、職員の知識・技術・経験に合わせ、内外部の研修等への参加を検討していきます。
	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	6		相談支援専門員、園や学校、医療機関等との連携を図り、子供さんや保護者様との情報交換を通して得られたニーズを分析し、計画の作成を行っています。	様々な情報を基に、子供さんの主な課題に対する支援を保護者の皆様と一緒に考えていきます。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		6	事業所内で統一したアセスメントツールを活用していますが、詳細な心理検査は実施不可能ですので、外部の結果を共有させて頂いております。	アセスメントツールは、何を使用するかは難しい課題です。行政からの統一された書式を期待したいところですが、まずは現在の書式を見直しつつ、使用を継続し、職員の共通理解を深めていきたいと思ひます。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援（本人支援及び移行支援）」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	5	1	ガイドラインに示してある項目を参考にしながら実施しております。	「ガイドライン」に基づく考え方や具体的支援の方法等については、当たり前のように取り組んでおりますが、もう少し意識的に取り込んで、深めていきたいと思ひます。
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	6		計画に沿った支援を実施しております。	その日の様子を観察しつつ、活動の種類や質を、さらに高められるようにしていきます。
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5	1	専門性を発揮しつつ、チームとしてプログラムを立案しております。	
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	4	2	子供さんの変化を見ながら、柔軟にプログラムを展開しています。	遊具やおもちゃを増やし、活動の種類を増やせるようにして参ります。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	6		子供さんの情状に応じて、個別・集団活動を組み合わせた計画を作成しております。	もう少し、いろいろな活動を導入できるようにして参ります。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5	1	基本的には朝の会で情報を共有できるよう心がけています。	今後も継続して参ります。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	4	2	支援終了後、職員間で話し合い、気づいた点を共有しています。しかし、送迎に時間がかかる場合もあり、皆が参加できない難しさも感じます。	効率的に打ち合わせが行えるように、工夫して参ります。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6		日々の支援に関する記録を徹底し、必ず目を通すようにしています。	短時間で内容の濃い記録を目指して取り組んで参ります。
⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	5	1	定期的にモニタリングを実施し、必要に応じて計画の見直しをしています。	漏れが内容、期間の把握等をしっかりしていきたいと思ひます。	

関係機関や保護者との連携関係機	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6		今年度は、感染症対策の観点から、様子を見ながらの参加でした。	担当制のもと、会議には担当者が参画していきたいと思います。
	㉑	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	5	1	各関係機関と連携し、支援を行っています。	まだまだ連携の不十分さを感じているので、より密にしていければと思っています。
	㉒	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	5	1	主治医からの指示を始め、各関係機関のかたがたと確認をしあいながら、支援させて頂いております。	上記と同様に、まだまだ連携の不十分さを感じているので、より密にしていければと思っています。
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	4	2	電話・メール・訪問・文書等の手段を活用しながら、主治医等と連携し、支援させて頂いております。	上記と同様に、まだまだ連携の不十分さを感じているので、より密にしていければと思っています。
	㉔	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	6		行っているお子様もいるが、すべてとは言えません。	今後、より一層の連携を深めていくことができるよう、働きかけていきたいと思っています。

関 や 保 護 者 と の 連 携	②⑥	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	6		支援内容等の情報共有・共通理解を図っています。	上記と同様に、まだまだ連携の不十分さを感じているので、より密にしていければと思っています。
	②⑦	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	1	5	すでに専門職がおりますので、助言や研修を新たに行う必要性をあまり感じていませんが、可能な範囲で研修会に出席させて頂きながら、連携を図っております。	まだまだ不十分さを感じているので、より密にしていければと思っています。
	②⑧	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	1	5		保護者様の多くは、望まない意見が多いので、今までは実施しておりません。今後は状況に合わせて対応していきたいと思えます。
	②⑨	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども子育て会議等へ積極的に参加しているか	2	4	機会が得られ、参加調整ができた場合は、参加しています。	まだまだ不十分に感じるため、より積極的に参加していきたいと考えています。
	③⑩	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6		送迎時や連絡帳、活動時の写真等を活用し、子供さんの状況や課題等についての相互理解を深めています。	もっとじっくりと話し合う機会を設けていければと思います。
	③⑪	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか	1	5	子供さんに合わせた関わり方等の提案・助言をさせて頂いております。	まだまだ不十分と感じています。相談会や参観日の開催等、検討して参ります。
保 護 者 へ の 説 明 責 任	③⑫	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6		契約時に、説明させていただいております。	限りのある時間の中ではございますが、継続して、わかりやすい説明を心掛けて参ります。
	③⑬	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	6		計画に基づきながら内容を説明し、保護者様より同意を得ています。	上記と同様です。
	③⑭	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6		悩み等に対し、臨機応変に対応させて頂いております。	都度、対応させて頂いております。
	③⑮	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		6		父母の会の結成を望まない保護者様が多くいらっしゃいますので、状況に合わせて対応していきます。
	③⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6		契約時に、相談・苦情対応窓口を説明しております。また、マニュアルを整備し、対応できるようにしております。また、都度相談には応じるようにしています。	今後も継続し、都度、電話や面談などを実施して参ります。

二 等	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6	会報は発行していませんが、都度、利用の内容をお伝えしております。	限りある時間の中で定期的な会報の発行は困難でした。なかなか伝えきれない部分も多く感じます。会報等の発行は有効かと思いますが、行事予定等の情報発信の方法につきましては、当方が実施しやすく、皆様に分かりやすい方法を検討していきます。
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意しているか	6	契約時に、個人情報の取扱いについて説明しております。	職員への周知も、さらに徹底して参ります。退職者にも、個人情報を漏らさないよう、誓約書に署名してもらっています。
	③⑨	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6	個々の子供さんにとって、意志疎通のしやすい方法を検討し、導入しております。	少しずつ、ツールが増えてきました。今後も様々なツールを検討・導入していきたいと思っています。
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	6	なかなか地域の皆様を招待する行事を計画できずにいます。	無理せず、地道に取り組んで参ります。

非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	2	4	都度、訓練を実施しております。	マニュアルはありますが、職員全員でじっくりと確認する時間を持ちにくいのが現状です。各種マニュアルを見直しつつ、打合せ時や研修を通して、職員への周知を図っていきます。
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	2	4	最低でも半年に1回、子供さん達と一緒に、避難訓練を行っております。	継続して実施します。
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	6		事前に、服薬状況等を把握し、看護師を中心に対応させて頂いております。また、途中での変更がないか、都度確認しています。	
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、指示書に基づく対応がされているか 医師の指示に基づく対応がされているか	2	4	アセスメント時等で、保護者様より教えて頂いております。	その内容を厳守し、対応させて頂いておりますが、医師の指示となると、不明なお子様もいるため、確実にしていくためにも確認を徹底するようにしていきたいと思っております。
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5	1	ヒヤリハット事例集はあり、事業所内で共有しております。	
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	2	4	虐待に対する研修会参加を促しております。また、報道の内容を共有し、随時学びを深めています。	マニュアルを見直し、打合せ時や研修を通して、職員への周知を図っていきます。
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	2	4	現在、身体拘束は行っておりません。	

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

